

# 教員紹介

マークの説明

- 歴 主な経歴
- 研 現在の主たる研究領域・テーマ
- 理 理学療法リハビリテーション分野
- 作 作業療法リハビリテーション分野
- 言 言語聴覚療法リハビリテーション分野
- 修 学位論文の主旨導ができる教員

修士論文の指導については、学生の研究内容により主旨導担当以外の教員も論文指導を行います。詳細はオープンキャンパスなどでお問い合わせください。

## 春原 則子

HARUHARA, Noriko

教授・研究科長 博士(行動科学)

歴 筑波大学大学院教育研究科カウンセリング専攻リハビリテーションコース修了。済生会中央病院リハビリテーション科副主任等を経て現職

研 失語症の症状・セラピー、発達性 dyslexia の発現機序・指導法の開発、SLI など。

言 修

## 後藤 多可志

GOTO, Takashi

准教授・専攻主任 博士(心身障害学)

歴 筑波大学大学院人間総合科学研究所修了。厚生労働省感覚器障害(聴覚)戦略研究流動員、筑波大学大学院人間総合科学研究科客員研究員等を経て現職

研 発達性ディスレクシアの発現機序や指導・支援に関する研究。言語発達障害児/者の指導・支援に関する研究。

言 修

## 工藤 裕仁

KUDO, Hiroki

教授 博士(スポーツ医学)、修士(体育学)(スポーツ医学)

歴 筑波大学大学院博士課程人間総合科学研究科スポーツ医学専攻修了。大野中央病院、小山整形外科内科、産業技術総合研究所テクニカルスタッフ等を経て現職

研 MRI・MRSを用いた関節軟骨の組成評価と機能評価。弱気圧酸素環境および物理刺激が酸化ストレス・抗酸化力に及ぼす影響について。

理 修

## 佐藤 広之

SATO, Hiroyuki

教授 博士(医学)、修士(人間科学)

歴 東京大学医学部医学科卒業、東京大学大学院医学系研究科外科学専攻リハビリテーション医学修了。国立病院機構東京病院リハビリテーション科等を経て現職

研 障がい者スポーツ、高齢者の健康・体力増進、スポーツパフォーマンス向上とリスクマネジメント。

理 修

## 万行 里佳

MANGYO, Rika

教授 博士(人間科学)

歴 早稲田大学大学院人間科学研究科博士後期課程修了。東邦大学医学部付属大橋病院整形外科等を経て現職

研 介護予防に関するヘルスリテラシーや代謝疾患の発症予防など行動変容に関する介入研究。

理 修

## 矢野 秀典

YANO, Hidenori

教授 博士(障害科学)

歴 東北大学大学院医学系研究科病態運動学専攻博士課程修了。横浜総合病院リハビリテーション科長、仙台医療技術専門学校専任教員等を経て現・目白大学保健医療学部長

研 高齢者全般を対象とした健康増進ならびに介護予防に関する研究。学生を対象とした健康教育に関する研究。

理 修

## 小山内 正博

OSANAI, Masahiro

教授 博士(保健医療学)

歴 国際医療福祉大学大学院博士課程修了。植草学園大学教授を経て現職

研 急性期理学療法や呼吸理学療法に関心をもち大学病院や総合病院で臨床を行ってきた。研究としては慢性閉塞性肺疾患患者の姿勢の影響についての研究、近年は、呼吸筋トレーニング効果、姿勢と肺気量位の関係、腹圧・換気パターンと肺メカニクスの関係に関心を持っている。

理 修

## 安心院 朗子

AJIMI, Akiko

准教授 博士(学術)

歴 筑波大学人間総合科学研究科ヒューマン・ケア科学専攻後期博士課程修了。創造会メディカルプラザ平和台病院等を経て現職

研 高齢者・障がい者の交通バリアフリーに関する研究。子どもに関する研究(障がい児における保育活動、子どもの身体運動など)。

理 修

## 辻 和弘

TSUJI, Kazuhiko

准教授 修士(保健医療学)

歴 急性期病院での臨床経験を経て現職

研 呼吸リハビリテーションに関する研究。

理 修

## 兵頭 甲子太郎

HYODO, Kshitaro

准教授 博士(医学)

歴 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科博士課程修了。春日部厚生病院リハビリテーション科を経て現職

研 地域理学療法、日常生活活動学。主な研究テーマとして、地域高齢者の活動量と臥床時間との関係、日常生活動作における下肢の動作解析に取り組んでいる。

理 修

## 會田 玉美

AIDA, Tamami

教授 博士(保健科学)

歴 筑波大学大学院修士課程教育研究科カウンセリング専攻リハビリテーションコース修了。東京都立府中病院、同駒込病院、同大塚病院、同豊島病院を経て現職

研 高次脳機能障がい者の社会参加、職場マネジメント。

作 修

## 小林 幸治

KOBAYASHI, Koji

教授 博士(作業療法学)

歴 国立療養所東京病院附属リハビリテーション学院卒業、首都大学大学院人間健康科学研究科修了。横浜市立脳血管医療センター、ふれあい町田ホスピタルを経て現職

研 患者の作業や生活史の情報活用に焦点を当てたチーム・アプローチ、作業療法参加型臨床教育、作業遂行6因子分析ツールの開発、他。

作 修

## 時田 みどり

TOKITA, Midori

教授 博士(学術)

歴 お茶の水女子大学文教育学部卒業、お茶の水女子大学大学院人間文化研究科修了。お茶の水女子大学研究員

研 健康行動における動機づけと行動変容の心理学的検討・リスク認知と意思決定の情報処理過程・知覚・認知・運動の相互作用・知覚運動学習における教示の効果。

作 修

## 花房 謙一

HANAFUSA, Kenichi

教授 博士(保健学)

歴 神戸大学大学院保健学研究科博士後期課程修了。奈良県心身障害者リハビリテーションセンター、大阪大学医学部附属病院、地方独立行政法人市立吹田市民病院リハビリテーション科参事を経て現職

研 基礎作業学および疾病後の過ごし方(時間の使い方)と疾病の回復に関する研究をライフワークとしている。

作 修

## 佐藤 彰弘

SATO, Akihiro

教授 博士(学術)

歴 青森県内の病院・施設で作業療法士として勤務後、アール医療福祉専門学校、健康科学大学を経て現職

研 ①摂食嚥下に関する運動学的研究、②ポジショニングに関する研究、③小学校へのOT介入に関する実践的研究

作 修

## 仲本 なつ恵

NAKAMOTO, Natsue

教授

歴 筑波大学医学専門学群卒業。同大学小児科、国立小児病院(現国立成育医療研究センター)神経科、帝京大学医学部小児科、東京都児童相談センター等を経て現職

研 発達障害の理解と支援に関する研究。そのほか、小児神経疾患に関する臨床研究。

作 修

## 館岡 周平

TATEOKA, Shuhei

准教授 博士(保健医療学)

歴 国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科博士課程修了。札幌秀友会病院、河北医療財団河北リハビリテーション病院主任、植草学園大学専任講師等を経て現職

研 脳血管障害を経験後の就労に関する研究。遠隔リハビリテーションに関する研究。

作 修

## 野村 健太

NOMURA, Kenta

准教授 博士(作業療法学)

歴 目白大学保健医療学部卒業、目白大学大学院修士課程修了、東京都立大学大学院博士後期課程単位取得後退学。慈誠会徳丸リハビリテーション病院等勤務、目白大学助教を経て現職

研 地域在住男性高齢者の社会的孤立を予防するためのプログラム開発、クリニカル・クラークシップ(CCS)に基づく作業療法臨床教育に関わる研究。

作 修

## 森 つくり

MORI, Tsukuru

教授 博士(教育学)

歴 東北大学大学院教育学研究科総合教育学専攻博士後期課程修了。九州保健福祉大学助手、仙台白百合女子大学、東北福祉大学講師、宮城県北部児童相談所等を経て現職

研 聴覚障害児者の生涯発達支援に関する研究。発達障害を合併した聴覚障害児の言語・コミュニケーション発達支援に関する研究。

言 修

## 角田 玲子

TSUNODA, Reiko

教授 博士(医学)

歴 東京医科歯科大学医学部卒業。埼玉県立がんセンター、関東通信病院等の耳鼻咽喉科勤務を経て現職

研 めまい・平衡障害の臨床研究。内耳性、小脳障害などの中枢性めまいのほか、前庭性片頭痛、持続性知覚性姿勢誘発めまいなどの診断・治療を研究。内服治療だけでなく理学療法や心理療法を取り入れたチーム医療を行っている。

言 修

## 今富 摂子

IMATOMI, Setsuko

准教授 博士(医学)

歴 上智大学大学院外国語学研究科言語学専攻博士前期課程修了。昭和健康学部形成外科、埼玉県立小児医療センター等を経て現職

研 発声発語障害の症状、評価、訓練に関する音声学・音韻論的研究。

言 修

## 橋本 幸成

HASHIMOTO, Kosei

准教授 博士(行動科学)

歴 医療法人室原会菊南病院、JCHO 熊本総合病院での勤務を経て現職。社会人大学院生として熊本県立大学大学院にて修士号、筑波大学大学院にて博士号を取得

研 失語症および高次脳機能障害を有する脳損傷者の症状分析、評価法ならびに訓練法に関する研究を行っている。

言 修

## 峯村 恒平

MINEMURA, Kohi

准教授 博士(教育学)

歴 筑波大学大学院人間総合科学学術院修了。目白大学高等教育研究所助教等を経て現職。現・目白大学人間学部児童教育学科准教授

研 専門は教育社会学。特に近現代社会の視点から「通信制高校」の歴史と変化を捉え、通う生徒のキャリア形成が、なぜ、どう変化してきたのか、研究を進めている。

言 修

## 坂口 紅美子

SAKAGUCHI, Kumiko

専任講師 博士(保健科学)

歴 鹿児島赤十字病院、目白大学保健医療学部言語聴覚学助教、日本医科大学付属病院リハビリテーション科主任を経て現職

研 摂食嚥下機能、発声発語機能に関する臨床研究。地域在住高齢者、サルコペニアに関する研究。

言 修

### 教員紹介 検索ページ

著書・論文歴、所属学会、学会発表など教員についての詳細は、こちらをご参照ください。

本学公式サイト

「教員紹介 検索ページ」はこちら▶

